

ブナの里親を探しています



ブナを植えて、あなたの身近な人達に
「美味しい空気や、美味しい水を飲ませてあげませんか」

「大山横手道上ブナを育成する会」では、第2回「ブナの里親」を伯耆町と丸山地区の厚意と協力で「大山ガーデンプレイス上の交流の森の一角」に仮植地を設けて、『ブナの里親』づくりを計画しました。

今回は若木を生まれ地の大山により近い所で2年間育てた後に、当会の主催する植樹祭などの機会に自分の手で、あるいは代理の人が植えて、森林づくりに役立ててもらいます。また、若木を育てることで、木や森に愛着を感じ、その大切さを理解してもらうのもねらいです。

さっそく、ブナの若木150本を、来月6月14日（日）に移植を行います。

今回は前回を反省して、「苗木の十分な管理が・・・、育てたくても場所が・・・」などの不安を一掃するために、苗木を幼木から若木に変えたのと、会員と里親が共に度々訪れていただいて成長を見守り易い場所を提供することにしました。何時までも繋がって行く「ブナの森づくり」に願いを込めて『ブナの里親』を募ります。

是非、御協力いただけますようお願い申し上げます。

☆ブナの紹介

* ブナは花が咲くのに50年、実を付けるようになるのに70年かかり、ブナの実を拾えるのは5~7年に1回巡って来る豊作の年だけです

* 1本のブナ(150年生)の空気の浄化能力

75万枚の葉をつけて、1年を通じて10人位の浄化能力らしい。

1夫婦で1本植えて、それが必ず順調に成長していけば子供の分も孫の分も確保したことになります。

* ブナの森と水

森林は「緑のダム」

「ブナの森から出る水は肥料いらず」「ブナの山に水筒いらず」

「ブナの木1本、水1石」



2年後には
「大山ふれあいの森」に帰
します



近くに駐車場・トイレもあり自由に使えます。
他に地場産品直売所・テニスコート・レストラン・
軽食コーナーなどもあります。

「大山横手道上ブナを育成する会

会長 森安 保
役員一同